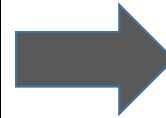


＜学力調査による本校の課題＞

- 基礎・基本の定着が不十分である。加えて、既習事項を基に、考えたり、活用・応用したりする力が不足している。
- 文章の読解力が不足していて、問題を正しく理解することができていない。
- 複数の資料に関連付けて考える力が不足している。（関連付けて考える経験が少ない）
- 問題に適切に答える力や条件作文（要約、感想等）など、書く力が不足している。



学校教育目標

夢や希望を持ち 力を合わせて 時代を生き抜く 児童生徒の育成

＜目指す児童の姿＞

- ◎国語科、算数科の学年末テスト（市販）で下記の目標を目指す。
 - ・昨年度の学期末テストの結果を基に、個別に目標を設定する。
- 基礎・基本の定着と活用・応用力の向上
 - ・言語事項の習得、漢字の活用力の向上
 - ・既習事項を基に考え、問題解決していく力の向上
- 問題解決能力の向上
 - ・問題場面や問われていることを正しく読み取って理解し、適切に答える力の向上
- 表現力の向上
 - ・読み取ったことや、自分の思いや考えを整理して、話したり書いたりする力の向上

学校＜全教科で共通した取組＞			家庭・地域との連携
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
○めあてとまとめ、振り返りの徹底。 ○読み、書き、計算の基礎基本の定着。 ・「基礎・基本の時間(算数科・国語科)」の全校一斉実施 国語科・・・文章読解、条件作文の練習 算数科・・・既習事項の復習 ・言語事項（漢字、言葉、文法、ローマ字）を習得し活用するための指導の工夫（週末の課題、キュビナ活用等） ・文章を正しく読み取る指導の工夫（線や印を入れる習慣） ・キュビナ等、ICTの活用 ・授業のUD化による理解力の向上	○問題解決能力、表現力の育成。 ・教科書を活用して、様々な問題にチャレンジできる指導の工夫 ・各教科の授業で、「対話」や「書く」学習活動を設定し、考えを深めたり、表現したりする力を高める指導の工夫 ・表現力（話す・書く）を高める指導の工夫	○学ぶ意欲の向上と学習習慣の定着。 ・系統立てた話型、聴型の定着、及び、ガイド学習の推進 ・目標や目的意識を明確にもたせた学習活動の推進 ・全校一斉学期末テストの実施 ・ 児童が主体的に学ぶ授業づくり（UD、UDL） ・ 心理的安全性を保障した授業づくり	○家庭学習の習慣化。 ・「よくわかる伊王島小学校」の活用 ・家庭学習メニュー表の活用 ○ 家庭学習の奨励と推進。 ・ 自分で決める学習への転換 ○家庭での生活習慣の見直し。 ・通信端末機使用の我が家のルールの徹底 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の定着
◆教師の指導力向上 ・校内研究の充実による授業改善 ・「あじさいスタンダード」の活用 ・UD、UDLを取り入れた授業改善 ・職員文庫の活用による自己研鑽 ・心理的安全性を保障した授業づくり	◆複式指導 ・「わたり」「すらし」を意識した授業計画と教材研究によるガイド学習の定着 ・学習の見通しをもたせることによる自主学習力の育成	◆インクルーシブ教育 ・児童の実態把握と共通理解及び指導方法の工夫 ・授業のユニバーサルデザイン化の推進 ・個別最適な学びの充実	◆ICT機器活用 ・ICT機器（chromebook、電子黒板、書画カメラ、デジタル教科書等）の効果的な活用 ・プログラミング学習の推進
			◆読書活動 ・ 電子書籍の活用 、図書館司書の活用 ・読書活動の推進と図書館の積極的な活用